

2020年度

北河内二次医療圏「地域医療構想」 現状と今後の方向性

大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに
公民のイコールフッティングで
病床機能分化の議論を進める

Contents

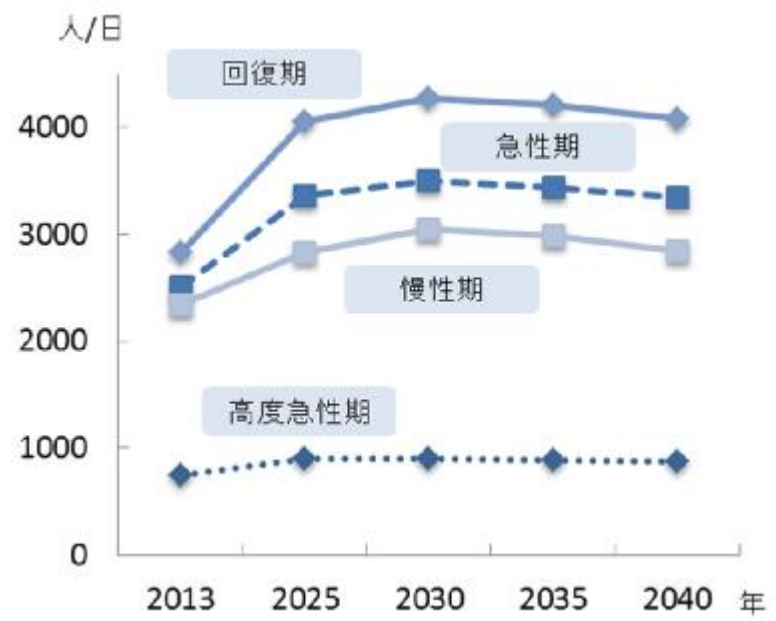
- 1 北河内二次医療圏の概要**
 - (1) 今後の医療需要の見込み
 - (2) 医療体制の概要
 - (3) 診療実態の分析の結果

- 2 将来のあるべき医療体制に向けて**
 - (1) 2025年に各病院が検討している病床機能
 - (2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

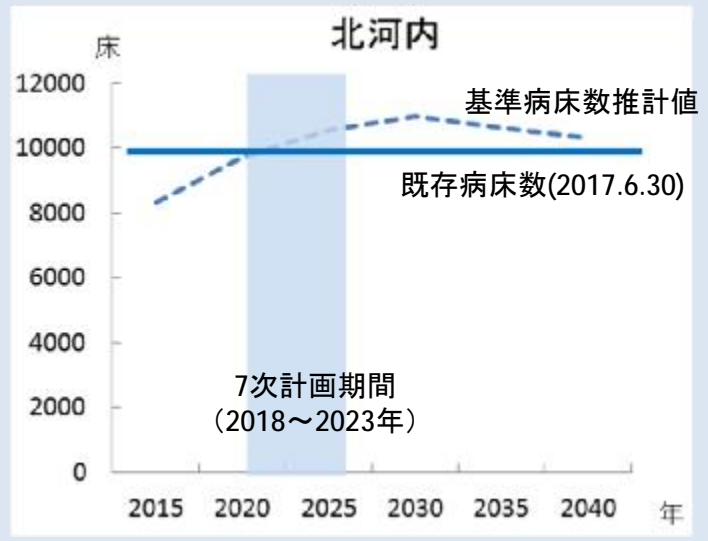
1 北河内二次医療圏の概要 (1) 今後の医療需要の見込み

北河内二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に、急性期と回復期)が増加する見込みである

● 病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)



● 基準病床数の見込み



基準病床数の将来見込みにおいて、今後、既存病床数を上回る可能性あり
 ※毎年、基準病床数推計値の見直しを検討する

	2013年	2025年		2030年		2035年		2040年	
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年
高度急性期	746	897	1.20	906	1.21	890	1.19	871	1.17
急性期	2,517	3,369	1.34	3,499	1.39	3,437	1.37	3,343	1.33
回復期	2,835	4,060	1.43	4,279	1.51	4,209	1.48	4,087	1.44
慢性期	2,340	2,837	1.21	3,058	1.31	2,989	1.28	2,845	1.22
合計	8,438	11,163	1.32	11,742	1.39	11,525	1.37	11,146	1.32

出典 第7次大阪府医療計画
一部改編

1 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要①

北河内二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が1病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が5病院である

●主な医療施設の状況

所在地	病院名	新公立病院改革プラン にかか る補 足調 査対 象	公的 医療 機 関 等 2025 プラン 対象 病院	特定 機能 病院	地域 医療 支 援病 院	社会 医療 法 人開 設病 院	公的 医療 機 関 等	府立 病院 機 構	在宅 療養 後方 支援 病院	がん 診療 拠点 病院	三 次救 急医 療機 関	災 害拠 点病 院	特定 診療 災害 医療 セン ター	周 産期 母子 医療 セン ター	感 染症 指定 医療 機 関	結 核病 床を 有す る病 院	エイ ズ治 療拠 点病 院	
守口市	社会医療法人弘道会守口生野記念病院					○												
	学校法人関西医科大学関西医科大学総合医療センター		○		○					○	○	○						
	パナソニック健康保険組合松下記念病院		○		○				○	○								
枚方市	社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院					○												
	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	(○)					○	○					○					
	市立ひらかた病院	○					○			○						○		
	関西医科大学附属病院		○	○						□	○	○		□				○
	国家公務員共済組合連合会枚方公済病院		○		○				○									
	社会医療法人美杉会佐藤病院						○			○								
	独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター		○		○					○								○
東香里病院						○												
寝屋川市	社会医療法人弘道会寝屋川生野病院					○												
	社会医療法人山弘会上山病院					○												
	一般財団法人大阪府結核予防会大阪病院																○	
大東市	医療法人仁泉会阪奈病院																○	
	医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院							○										
門真市	社会医療法人弘道会萱島生野病院					○												
	社会医療法人蒼生会蒼生病院					○												
四條畷市	社会医療法人信愛会脳生会脳神経外科病院					○												
交野市	社会医療法人信愛会交野病院					○												
合 計		1	5	1	4	10	2	1	3	6	2	2	1	1	1	2	2	



2020年10月末時点
【対象病院数57の内訳】
公立病院：1
公的病院：5
民間等病院：51

※ 「がん診療拠点病院」の○印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。
※ 「周産期母子医療センター」の○印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

注：大阪精神医療センターは新公立病院改革プランの対象病院であるが、病床機能報告対象病院ではないため、合計数にカウントしていない

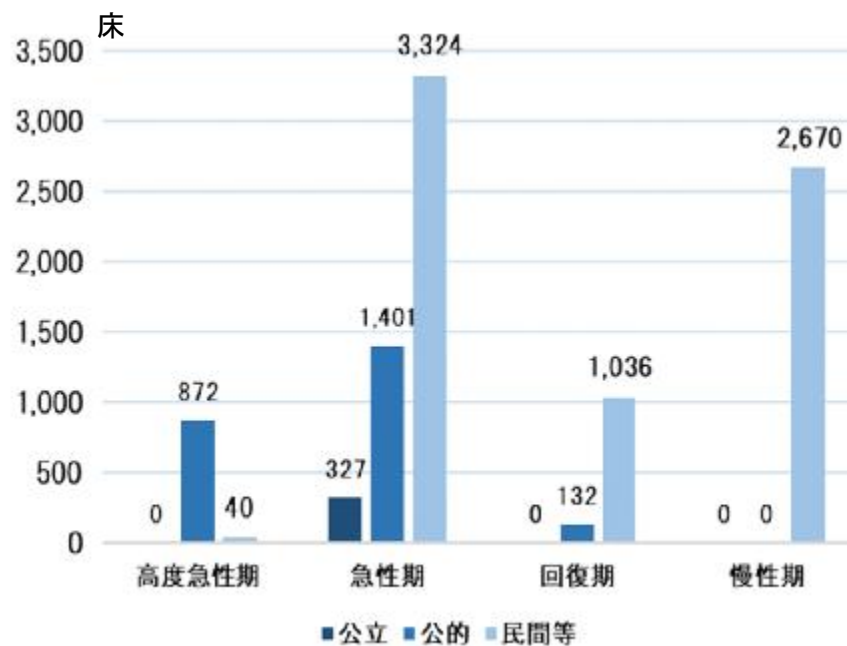
1 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要②(病床機能別実態)

急性期・回復期・慢性期において、民間病院等が有する病床数が多い

● 病院プラン調査等提出

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	1	1	100%
公的	5	5	100%
民間等	51	51	100%
合計	57	57	100%

● 病床機能別病床数

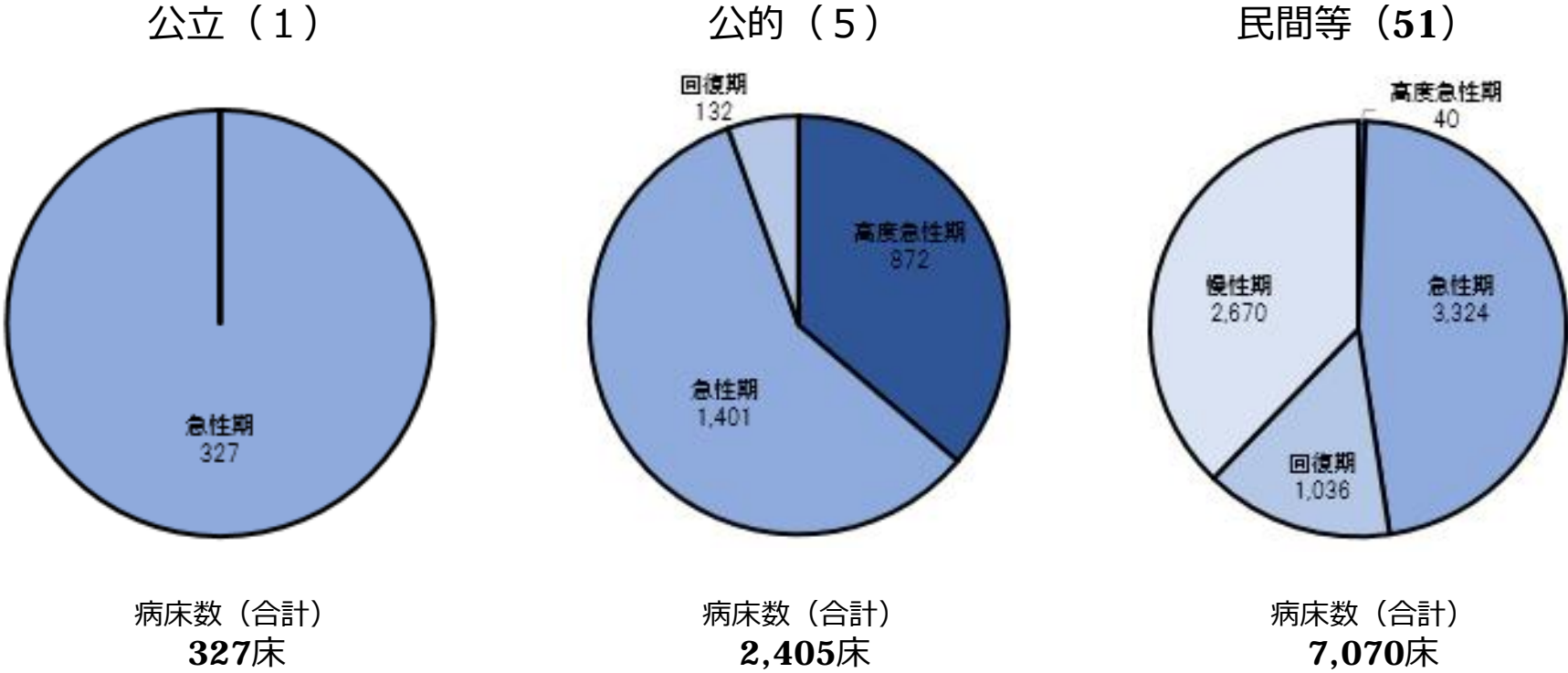


参照：2020年度病院プラン調査等

1 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要③(公民別病床機能)

公立・公的・民間等、それぞれにおいて有する
病床機能の割合は異なっている

● 公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出57病院(公立1、公的5、民間等51))



参照 2020年度病院プラン調査等

1 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要④(公民別病床機能)

●【参考】保健所別病床機能別割合

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(守口保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	53	692	16	0	761
民間等	12	886	284	244	1,426
計	65	1,578	300	244	2,187

病床機能別割合【令和2年7月時点】(守口保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	7.0%	90.9%	2.1%	0.0%	100%
民間等	0.8%	62.1%	19.9%	17.1%	100%
計	3.0%	72.2%	13.7%	11.2%	100%

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(四條畷保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	20	788	276	615	1,699
計	20	788	276	615	1,699

病床機能別割合【令和2年7月時点】(四條畷保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
民間等	1.2%	46.4%	16.2%	36.2%	100%
計	1.2%	46.4%	16.2%	36.2%	100%

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(枚方市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	327	0	0	327
公的	819	709	116	0	1,644
民間等	0	659	317	1,418	2,394
計	819	1,695	433	1,418	4,365

病床機能別割合【令和2年7月時点】(枚方市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	49.8%	43.1%	7.1%	0.0%	100%
民間等	0.0%	27.5%	13.2%	59.2%	100%
計	18.8%	38.8%	9.9%	32.5%	100%

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(寝屋川市保健所所管内)

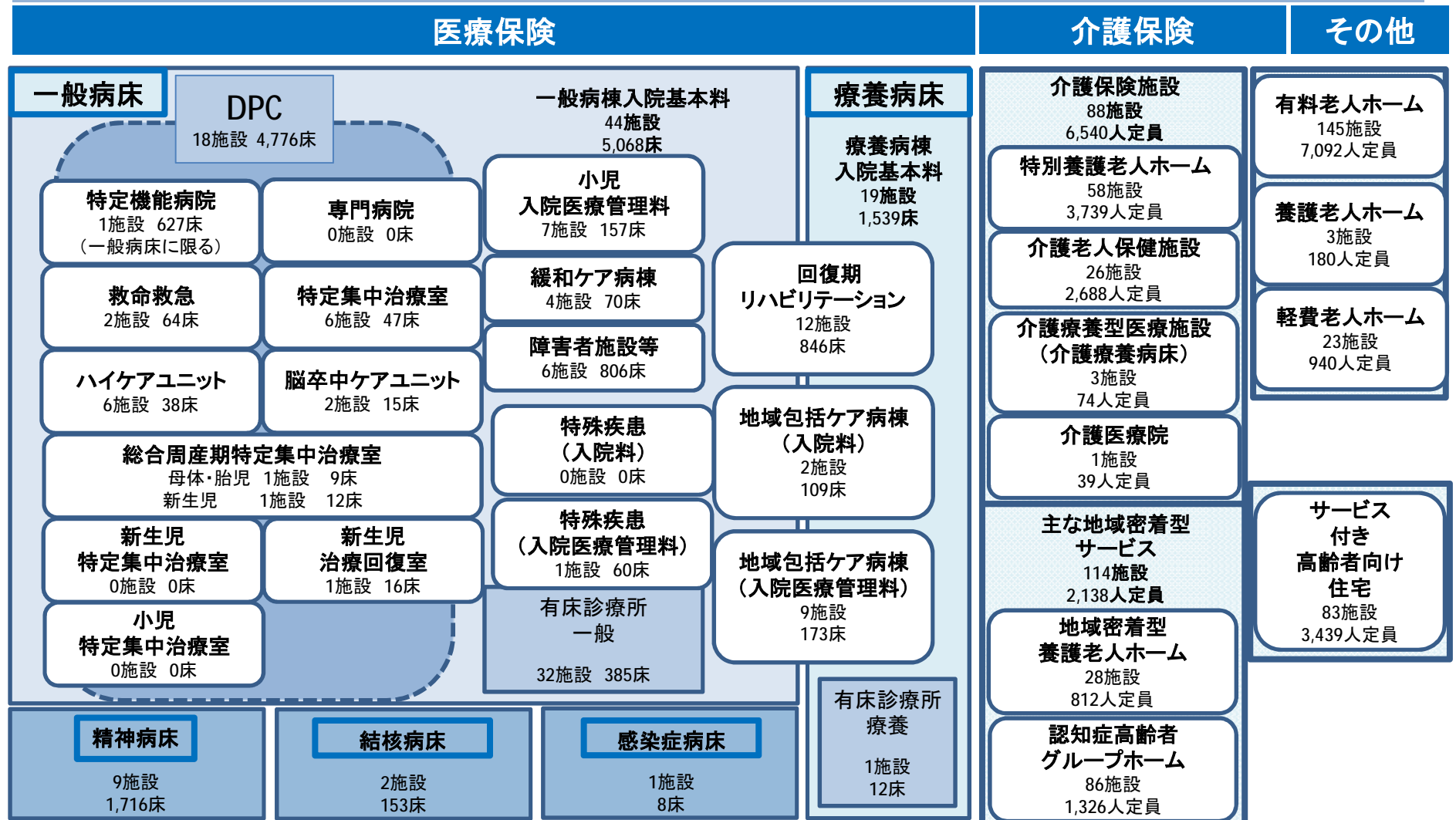
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	8	991	159	393	1,551
計	8	991	159	393	1,551

病床機能別割合【令和2年7月時点】(寝屋川市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
民間等	0.5%	63.9%	10.3%	25.3%	100%
計	0.5%	63.9%	10.3%	25.3%	100%

1 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑤(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されている

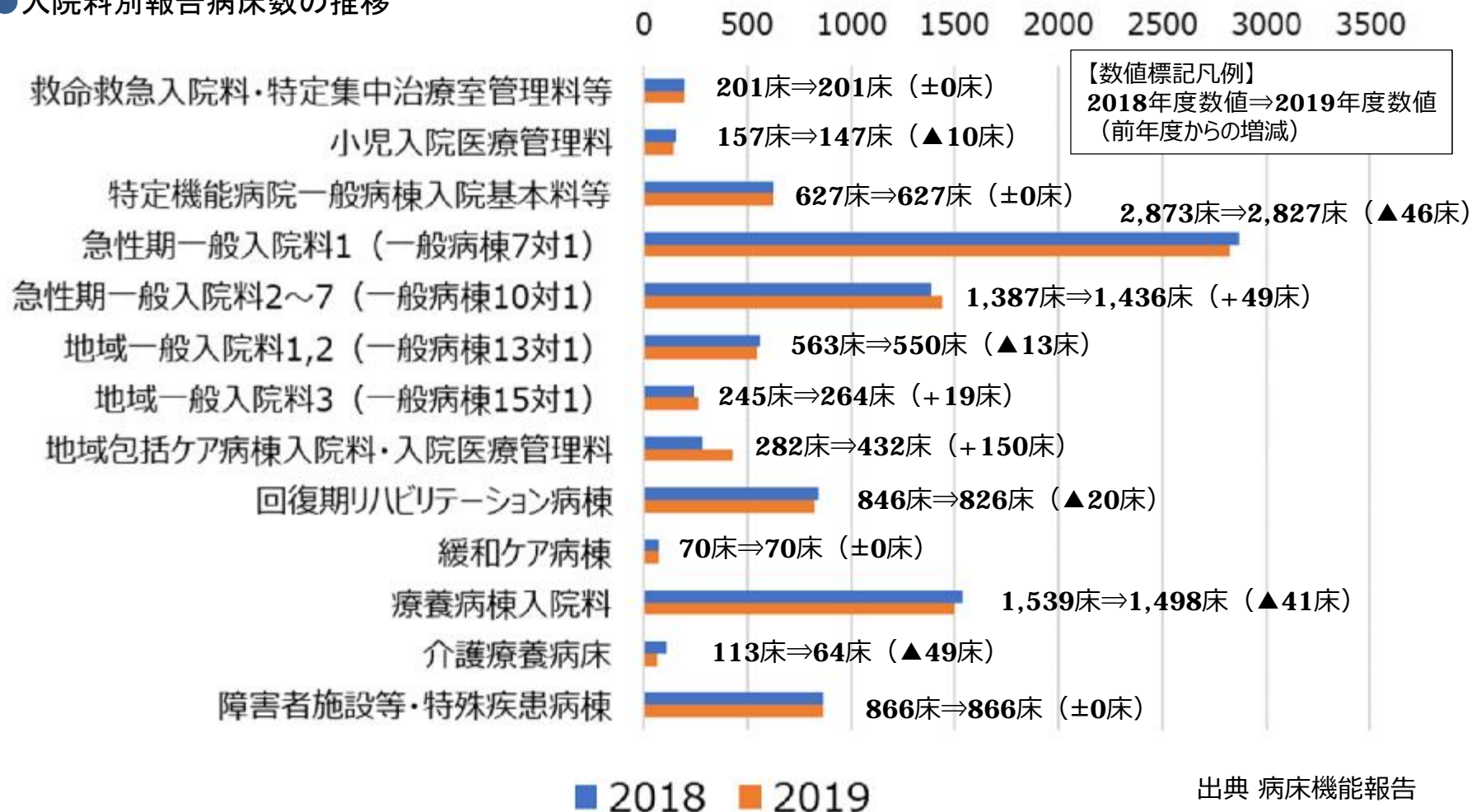


出典 「医療保険」病床機能報告(2017年7月1日時点の医療機能：2018年10月集計)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2019年3月31日現在))「介護保険・その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームは2018年1月1日現在、その他施設は2019年4月1日現在)

① 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑥ (入院料別の経年変化)

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の 報告病床数は、増加傾向

●入院料別報告病床数の推移



出典 病床機能報告

① 北河内二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑦(転換補助金)

「病床転換促進事業補助金」の交付病院数は府全体で増加傾向であり、北河内二次医療圏においては3病院に対し、交付実績がある

病床転換促進事業補助金（実績）

大阪府全体

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	3	3	3	119	119	119
2016年	5	3	0	103	63	0
2017年	7	5	2	303	125	41
2018年	7	6	0	315	285	0
2019年	8	4	1	256	44	6
合計	30	21	6	1096	636	166

北河内

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	1	1	1	16	16	16
2016年	0	0	0	0	0	0
2017年	0	0	0	0	0	0
2018年	1	1	0	28	28	0
2019年	1	0	0	16	0	0
合計	3	2	1	60	44	16

1 北河内二次医療圏の概要 (2) 地域医療構想の進捗状況

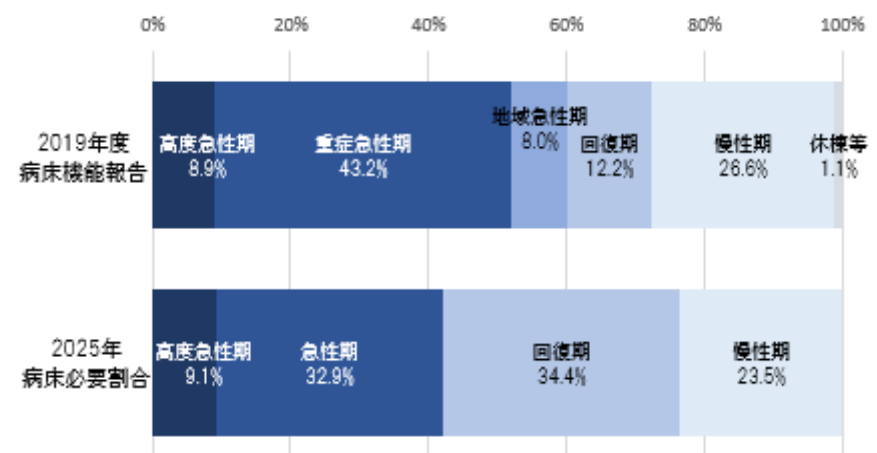
病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、北河内二次医療圏で約14%程度同機能への転換が必要と推計

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計	
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床数の必要量	2013	994	3,227			3,150	2,543			9,914	
病床機能報告	2014	894	5,710			863	2,487	8	559	10,521	
病床機能報告	2015	1,035	5,445			1,351	2,435	9	233	10,508	
病床機能報告	2016	910	5,442			901	2,755	108	319	10,435	
病床機能報告	2017	924	5,522	3,921	51	1,550	926	2,807	115	19	10,313
病床機能報告	2018	919	5,461	4,299	56	1,106	975	2,835	149	37	10,376
病床機能報告	2019	919	5,280	4,452	0	828	1,254	2,742	114	0	10,309
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	941	3,396			3,547	2,424			10,309	
病床数の必要量【オリジナル】	2025	1,197	4,319			4,511	3,083			13,110	

● 病床機能報告 (2019年度) と病床数の必要量 (2025年) の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期			
病床機能報告	2018	8.9%	41.6%	0.5%	10.7%	9.4%	27.4%	1.4%
病床機能報告	2019	8.9%	43.2%	0.0%	8.0%	12.2%	26.6%	1.1%
病床数の必要量	2025	9.1%	32.9%		34.4%	23.5%		



サブアキュート・ポスト アキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測

① 病床機能報告 (地域急性期 + 回復期)

2018年度	20.1%
2019年度	20.2%

② 病床数の必要量 (回復期)

2025年	34.4%
-------	-------

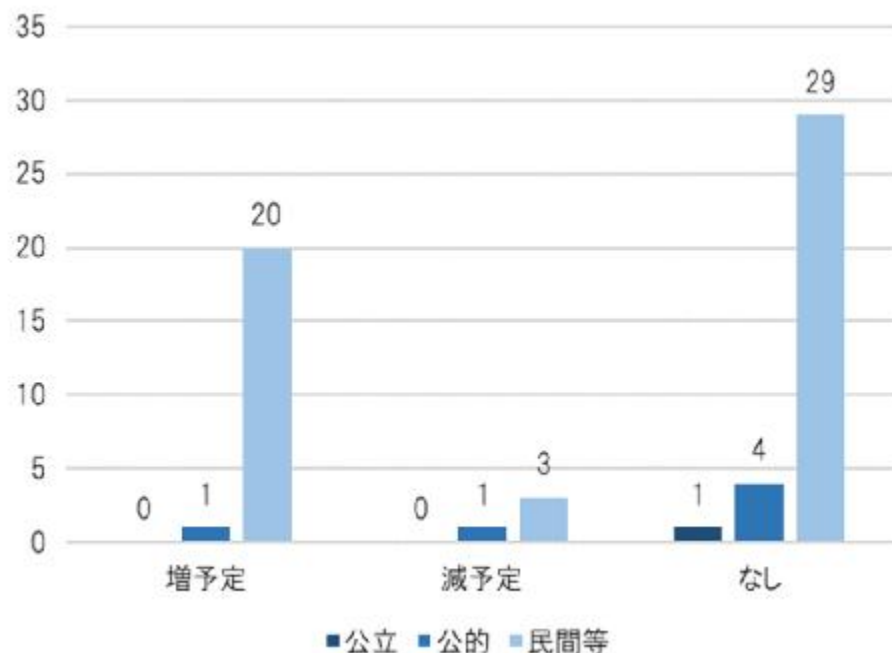
割合の差 14.2% (約1,500床)

2 将来のあるべき医療体制に向けて

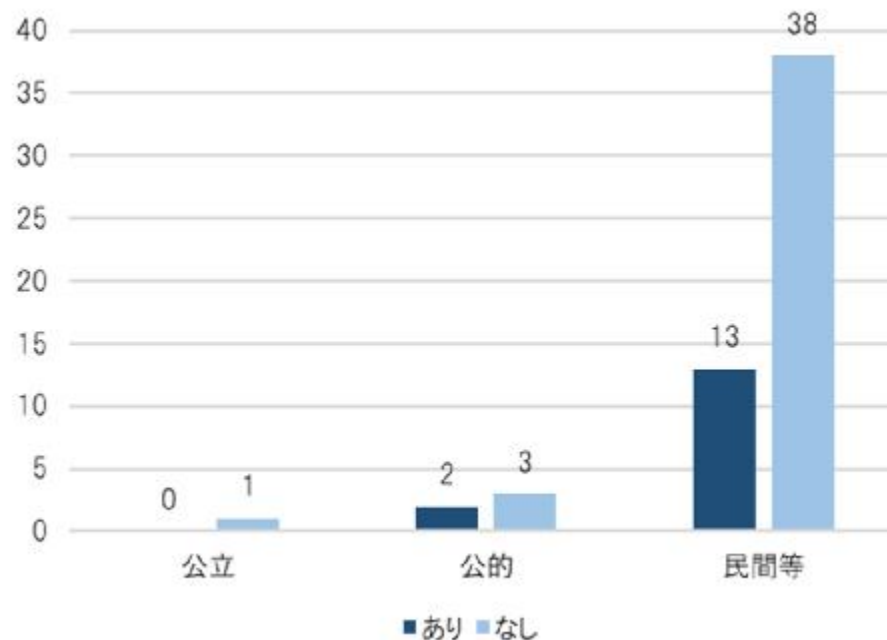
(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

23の医療機関が診療科の見直しを、
15の医療機関が建て替えの検討を、行っている。

● 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建て替えの検討の有無



参照 2020年度病院プラン調査等

② 将来のあるべき医療体制に向けて

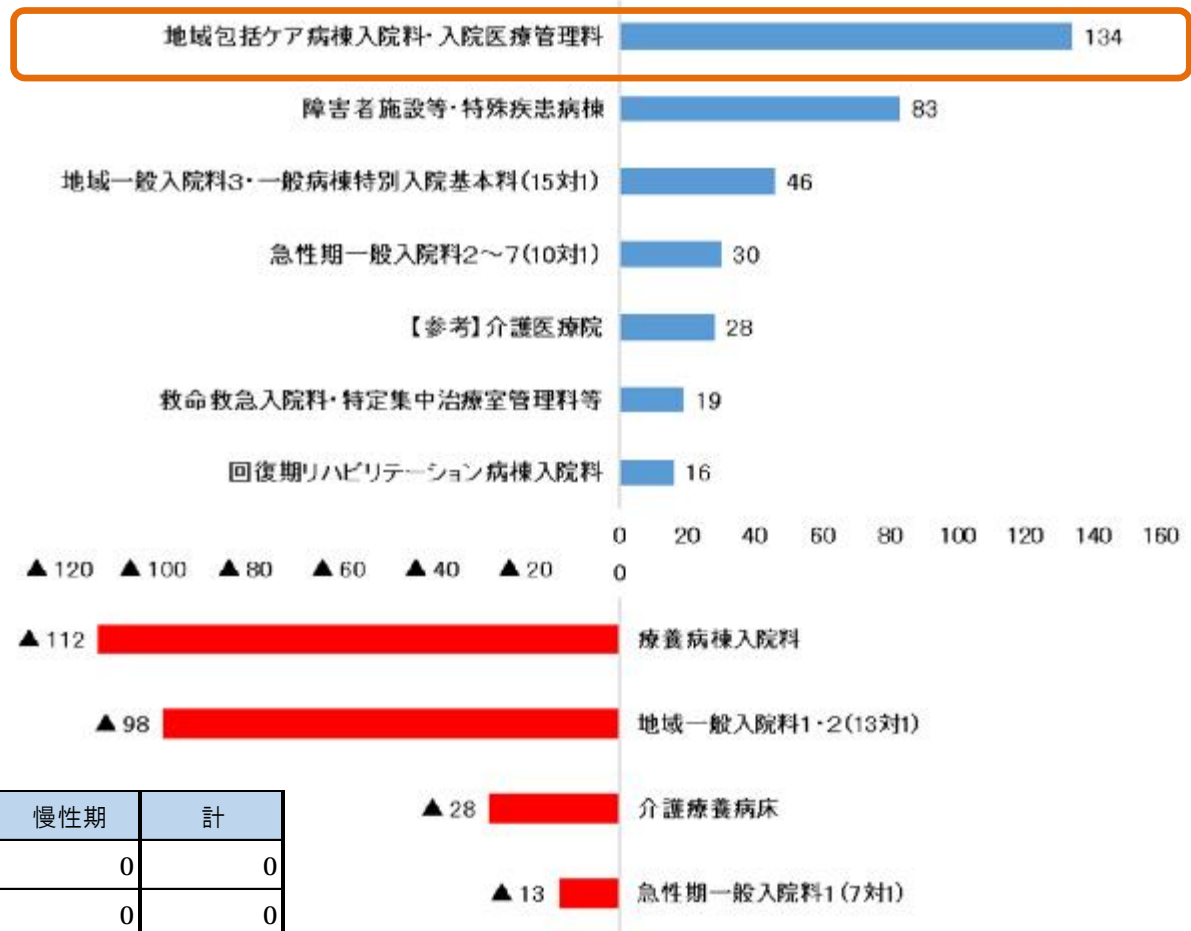
(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

圏域全体では、回復期は増える方向となっており、
入院料別にみても、地域包括ケア病棟は増える方向となっている。

●入院料別の検討状況※

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出）



●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	7	▲ 7	0	0	0
民間等	12	▲ 62	163	▲ 26	87
計	19	▲ 69	163	▲ 26	87

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

●【参考】保健所管内別病床機能の検討状況※

病床機能別増減表(北河内:守口保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	7	▲ 7	0	0	0
民間等	6	▲ 6	0	0	0
計	13	▲ 13	0	0	0

病床機能別増減表(北河内:四條畷保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

病床機能別増減表(北河内:枚方市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	▲ 14	108	▲ 10	84
計	0	▲ 14	108	▲ 10	84

病床機能別増減表(北河内:寝屋川市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	6	▲ 42	55	▲ 16	3
計	6	▲ 42	55	▲ 16	3

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別(病床機能別)病床数総計から各病院の現在の入院料別(病床機能別)病床数の総計を差し引いて算出

参照 2020年度病院プラン調査等

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(2) 2025年に向け各病院が検討している病床機能のまとめ

- 将来に向けて、回復期機能を担う地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の病床数は増加し、療養病棟入院料の病床は減少する傾向が見込まれる。